



日本からの訪問者と子どもたち！（カンボジア孤児院）

特定非営利活動法人 礎の石孤児院理事長

北野 直人

皆さんの、心からの御支援、いつもありがとうございます。

6月8日に、私ども認定NPO法人礎の石孤児院第12回総会が行われました。

昨年度の活動と共に、今年度の活動目標も報告されました。その報告を聞くたびに、その活動の土台となってくださっている皆さんの御支援を思い起こさずにはいられず、ただ深く、感謝の思いをもつばかりでした。その中で、もう皆さんにもお話しをしている事柄ですが、カンボジアをはじめ、各孤児院とも、子どもたちの成長とともに、かかる経費も増えています。「もう少し経費を増してほしい」、正直なところ、これが各孤児院からの要望です。総会にて本年度活動案も承認され、さらに子供たちを助けるべくその事業を進めて行くには、やはり、何よりも皆さんの御支援が必要であります。どうか、これからも皆さんの御支援、サポート、是非よろしくお願い致します。

## カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアプスワ！（こんにちは！）『礎の石孤児院』の働きのための皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。6月1日は「国際子どもの日」の祭日でした。今年は子どもたちが通っている学校にある教会のサンデースクールの先生から声をかけて頂いて、まだ行った事のない小さい子どもたち5人とスタッフ2人で動物園に行くことが出来ました。間近でいろいろな動物達をはじめて見る機会と、同時にたくさん子どもたちや大人の方々とも行動を共にする

貴重な体験が出来たようです。6月中旬には、毎年訪問して下さっているシンガポールから今回もチームで訪問して下さいました。今回は特に3日間、毎日午後から2時間ほど続けて来て下さり、楽しいゲームや歌ったりお話を聞いたり盛りだくさんで、あっという間の3日間でした。また、日本の法人団体の方々がバドミントンをお届けして下さいました。いつ練習する機会があったのか、思ったよりみんな上手に楽しく遊んでいます。



食事前にお話中の女の子たち！

## フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

皆様のご支援を心から感謝いたします。6月10日、スタッフのインガイさんはスモーキーマウンテンの子どもたちの保護者として、子どもたちが通っている学校の「ブリガーダエクスクウェラ」という活動に参加しました。「ブリガーダ エクスクウェラ」とは保護者と生徒と一緒に、学校の掃除、教室の修理、校庭の花植え、また教師の手伝いなどを



孤児院スタッフのインガイさん。

する活動で、教育省の指示により2002年より各学校で実施されている活動です。6月14日は、学校のオリエンテーションがありました。この時に新入生や新しい先生の紹介がありました。今年度、礎の石孤児院の支援により学校へ行く子どもたちは合計で38名です。この子どもたちは皆様のご支援によって教育を受ける事が出来ます。今年度は、学校のカリキュラムが大きく変わり、学校制度が小学校は10年制、高校は6年制になります。この変化によって、子どもたちが、より質の高い教育が受けられるようにと願っています。皆様のご経済的サポートを心から感謝致します。引き続きフィリピン孤児院の子どもたちのためにご支援をよろしくお願いいたします。

## ザンビア孤児院レポート

## シオン桜子ムタレ

ムリ ボワンジ（こんにちは）皆様のご支援に心から感謝申し上げます。特に、高校への入学を果たすことができたフィデリスとテリース、そして中学 3 年に進級をすることができたマリアより、皆様への感謝を申し上げます。皆様のご支援を得て、現在、元気いっぱい学校へ通っています。多少風邪をひいても休むことなく、自宅でも熱心にノートを広げる姿に、夢（フィデリスは弁護士、テリースは電気技師）の実現が近いことを感じつつ、これからも、皆様の愛に支えられ、大きく成長していくことを期待しています。また、カセンガの孤児院学



喜びに溢れる子どもたち！

校は、最近、近隣の学校（公立も含む）合同でのクイズ、演劇、詩作のコンペティションで、何と 3 部門全てで第一位を獲得するという、輝かしい成績を残しました。トロフィーと賞金もいただきました。特に、孤児院のスタッフでもある教師たちは、保護者たちから感謝の声をいただき、また、3 部門優勝の立役者である我がスティーブンを祝福を受け、孤児院が喜びに溢れる素晴らしい一日となりました。

## ブラジル孤児院レポート

## 松本 弘子

皆様のご支援とご協力をありがとうございます。すっかり涼しく、あるいは時々寒くなったアラサトゥーバでは、雨が終わって乾期が来てしまったかと思った矢先に「梅雨か？」と思うような雨が来たりしています。さて、サッカー日本代表のブラジル W 杯出場決定、おめでとうございます！ リオデジャネイロは来年の W 杯、さらに五輪へ向けて、インフラ整備や治安改善など、多くの課題を抱えています。リオデジャネイロ周辺では、助けを必要とする非常に貧しい地域もあり、活動が危険な地域でもありますが、この機会



コーヒータイムの松本スタッフ！

に情報収集などもできたらと思っています。地域の方々と接する機会を増やすために始めた日本語教室も、まだ生徒は一人ですが、楽しく続けています。さらに多くの子供たちに教えて、出会いの場を広げたいと願っています。大人に教えるのとはまったく違い、子供に教えるのは、私にとって未知の領域です。この学びのチャンスを感じています。日本語教育に限らず、一般的な事についても、ポルトガル語の教材を少しずつ買い揃えて、さらに学んでいきたいと思っています。

# ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を！

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。

また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。

私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

## 支援金送付先

### 【郵便振替】

(口座番号) 00130-5-24249

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

### 【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2069305

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

### 児童養護施設（孤児院）設立支援のため

### 【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2915961

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

### 【郵便振替口座】

(口座番号) 00120-5-417839

(加入者名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

## 「礎の石」パートナー募集中

私たち NPO 法人「礎の石」孤児院では、毎月10千円をもって孤児たちを支えてくださる「礎の石」パートナーを募集しております。

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所、Eメールアドレスまでお送りください。

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局

〒141-0031

東京都品川区西五反田1-14-1 クレイズヒル岩崎201

電話：03-5740-8814 FAX：03-5740-8817

E-mail：[ishizue@athena.ocn.ne.jp](mailto:ishizue@athena.ocn.ne.jp)

<http://www.cornerstone.or.jp/>